

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 平成30年度二級河川 沼田川水系 奥条川1 砂防事業に伴う測量等業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.2	調査位置	広島県東広島市中河内	北 緯	34° 28′ 33.7712″
発 注 機 関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	2018年 10月 3日 ～ 2018年 10月 5日	東 経	132° 53′ 31.1239″
調 査 業 者 名		主任技師		現 場 代 理 人	コ 鑑 定 者
孔 口 標 高	T. P. 126.73m	角		方 位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
地 盤 勾 配		使用機種	試 錐 機 東邦D0-D エンジン ヤンマーNFD-10	ポン プ	東邦BG-3C型
総 削 孔 長	8.00m	度	0°		

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色相	対対	質時	地質時代名	記 事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験										試料採取		室内試験	削孔 月日						
												深度－N値図										深 度 (m)	100mmごとの打撃回数			打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号	採取方法
												N 値	深 度	0	100	200	300														
1				玉石混じり砂礫		褐 灰	緩い～密な		第四紀	土石流堆積物。 径50cmを超える硬質花崗岩礫を含む硬質土を主体にする。 礫間を埋めるマトリックスは砂質礫～硬質砂からなる。 Gl=0.40m付近コンクリート片を含む。	10/3 1.50		7	1.60	3	2	2	7	300								10/3				
2													31	2.48	6	13	12	31	300												
3	123.33	3.40												65	3.15	8	10	32	50	230	230										
4				風化変質花崗岩		淡黄灰～淡褐				中粒～粗粒斑状花崗岩の弱変質部。 片状～柱状コアを主体とし、亀裂間を黄白色粘土鉱物が網目状に充填する。 原岩組織をとどめるものの、コア全体が軟質化している区間が多い。 コアはハンマー打撃にて粉砕可能な硬さを有する。				750	3.38		0	0	50	50	20	20									
5															5.00	貫入不能		50	0												
6	120.53	6.20													5.00																
7	120.28	6.45		風化花崗岩		淡茶褐			CM	変質のほとんど認められない斑状粗粒花崗岩。 上位・下位の変質部とは急角度で接する。 新鮮柱状コア。					6.00	10	0	0	50	10	10										
8	118.73	8.00								コア中の淡黄緑色変質部のみならず、開口した亀裂面沿いの褐色化が顕著。 ハンマー打撃にて粉砕可能な硬さで、原岩組成をとどめない区間もある。 コア肌粗く、片状～短柱状コア主体となる。					7.00	貫入不能		50	0												
9															8.00	貫入不能		50	0												